

# 平成 30 年度事業報告書

公益目的事業 : 精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する事業

## 1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

### (1) あかね荘事業

#### ① 短期入所事業

事業内容 : 居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。

実績 : 延 165 人 (実数 7 人) の方が利用

#### ② 自立訓練 (生活訓練) 事業

事業内容 : 施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績 : 延べ 6,793 人 (実数 40 人)、宿泊での延べ利用者 8,997 人 (実数 40 人) 方が利用し、うち 11 人が地域で自立した生活を送っています。

#### ③ 相談支援事業

##### 一般相談支援事業

事業内容 : 広く一般の方 (障がい者、家族等) からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績 : 延べ 926 人の方が利用

### (2) あかねワークセンター事業

#### ① 就労継続支援 (B型) 事業

事業内容 : 一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行いました。

実績 : 延べ 5,420 人 (実数 30 人) の方が利用

#### ② 多目的ホール開放事業

事業内容 : 施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対しての偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放しました。

実績 : 利用者数 5,919 人 28 団体が利用

### (3) あかねホーム事業

#### ① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ 2,693 人（実数 10 人）、の方が利用し、うち 1 人が地域で自立した生活を送っています。

## 2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

### (1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、県内の精神科病院が当番制で相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、相談内容の統計分析を行い、結果はホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。また、相談員の対応能力向上のための研修会等にも活用しております。

実績 : 平成 30 年度相談対応件数 1,309 件

精神科救急情報センター相談員研修実施

平成 30 年 9 月 28 日（金）

場所 ウェルパル熊本 1 階 会議室 参加人数 85 名

### (2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけでなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を 1 床確保しました。

実績 : 30 年度救急患者数 842 件（助言指導 327 件、外来受診 282 件、入院 189 件、その他 44 件）

## 1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

### (1) 院長会 年6回開催（5/24,7/26,9/20,11/29,1/24,3/20）

: 院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見集約を行いました。

### (2) 学術研修小委員会 学術講演会を年6回開催

: 製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。また、第73回九州精神神経学会・第66回九州精神医療学会（熊本）開催に向けて実行委員会を3回開催しました。（9/20.12/25、3/121）

### (3) 看護部小委員会 研修会を年4回開催（4/25,6/2,9/7,12/1）

: 看護部小委員会は、研修会の企画・運営と関係機関への協力を行いました。研修会は4回実施しました。九精協の看護部長会議や熊本県精神科救急情報センター相談員研修会への役員派遣を行いました。また協力事業として「心の健康フェスタ」へ参加協力しました。

### (4) 栄養部小委員会 研修会を年2回開催（7/4、2/28）

: 会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会を行いました。また、非常食提供マニュアルにもとづき、災害時に連携をとれるよう圏域ごとに実地訓練を行いました。

### (5) コ・メディカル部小委員会 研修会を年2回開催（7/6、11/28）

: コ・メディカル部会に登録頂いている、各医療機関のコ・メディカルスタッフ向けに年に2回、研修会を企画し開催しました。協力事業として、「心の健康フェスタ」での相談コーナーなどに部会委員を派遣致しました。

### (6) 薬剤部小委員会 研修会を年2回開催（9/1、3/2）

: 会員医療機関に勤務する薬剤師等を対象に薬剤に関する専門分野の研修会を実施しました。

### (7) 事務長会 研修会を年3回（4/25,11/14,2/20）

: 会員医療機関に勤務する事務長等を対象に医療経営管理等について研修会を実施しました。

### (8) 診療・介護報酬委員会 研修会を年1回開催（4/25）

: 事務長会、看護部小委員会と合同で行いました。

### (8) その他各種委員会

: 熊本県・熊本市等の開催する検討会への委員派遣、内容検討についての意見具申等を通じて当協会の精神保健医療福祉に関する考え方の実現を図りました。

## 2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に4回発行（発行部数 350部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。協会誌のホームページ掲載化も行いました。

協会誌編集委員会 4回実施（6/6、9/5、12/5、3/6）

## 3 精神障害者リハビリ事業

### (1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

事業内容 : 会員医療機関の相互交流や精神障害者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障害者を対象としたレクリエーション大会（くませいフェスタ）実施しました。

・平成30年6月7日（木）パークドームにて開催 参加者 1,309名

### (2) 作品展示への事業協力（看護部小委員会、コメディカル部小委員会）

・「第56回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示に協力

平成30年10月12日 くまもと森都心プラザ

・「第26回精神障害者作品展示会」における作品展示に協力

平成30年9月9日 下通りアーケード

その他事業2 : 県・市からの委託事業
---------------------

## 1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績 : 熊本県下3件（内熊本市1件）

## 2 精神障がい者地域移行支援事業及び研修会開催事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域体制整備アドバイザーによる退院に向けた個別支援を提供する事業を行いました。また、精神障がい者の円滑な退院、地域移行を図るため、研修会を行いました。

実績

- ・地域体制整備アドバイザー配置事業  
熊本市関係 3名配置
- ・精神障害者地域移行ファシリテーター研修会を実施  
平成30年10月26日（金）  
場所 ウエルパル熊本 3階会議室 参加人数 49名
- ・退院支援生活環境相談員等研修会を実施  
平成30年12月11日（火）  
場所 ウエルパル熊本1階 大会議室 参加人数 226名

### 3. 熊本こころケアセンター事業

事業目的 : 熊本地震による被災者の心の問題に対応するため、次の活動を行い被災地域の精神保健福祉機能を向上させ、被災者の健康的な生活の実現を図る。

- 活動内容
- (1) 被災者への相談支援等
    - ・ 電話や来所による相談、仮設住宅入居者等への訪問支援
    - ・ 仮設住宅における相談会等の開催
    - ・ 健康調査の実施
  - (2) 人材育成
    - ・ 市町村保健師、学校関係者、保育士など被災者の心のケアに携わる地域の支援者やボランティア等に対する研修の実施
    - ・ 被災市町村の一般住民を対象とした災害時心のケア研修会の開催
  - (3) 支援者の支援
    - ・ 被災者の心のケアに従事する市町村職員等への技術的助言
    - ・ 被災者の心のケアに従事する市町村職員等のメンタルヘルスケア
  - (4) 医療と保健のネットワーク形成等
    - ・ こころのケアセンター運営委員会の開催
    - ・ 関係団体との連携・協働の調整
    - ・ 被災市町村におけるデータの収集整理、分析、検討等
  - (5) 普及啓発
    - ・ 一般県民、被災者、支援者向けのメンタルヘルスケアに関する情報の発信、啓発パンフレットの作成、講演会等の開催

実 績	(1)被災者への相談支援		
	電話相談	529 件	
	来所相談	90 件	
	訪問相談	332 件	
	相談会等での相談	121 件	
	【 計	1,072 件	】
	健康調査	16,761 人	
	(2)人材育成		
	研修会の開催	12 回	受講者 963 人
	研修会への講師派遣	30 回	受講者 1,820 人
	【 計	42 回	受講者 2,783 人
	(3)支援者の支援		
	支援に関する相談対応	513 件	
	ケース会議出席	126 件	
	【 計	639 件	】
	(4)医療と保健のネットワーク形成等		
	市町村等との協議	78 件	
	関係機関主催会議への出席	52 件	
	(5)普及啓発		
	一般向け講演会等	3 件	受講者 204 人
情報発信	42 件		
啓発冊子配布部数	11,600 部		

1 循環型認知症医療のための認知症連携体制基盤強化事業（基金事業）

事業内容 1. 連携会議による地域の連携・協働の仕組みづくり

(1) 病院間連携会議の実施

参加精神科病院と連携する一般科病院間で、連携担当者を中心に実施。認知症や身体疾患への対応方法などの検討を必要とする事例を通じ、連携における課題について検討し整理を行った。また明らかとなった課題に対して、可能な限り課題改善に取り組んだ。

(2) 地域連携会議の実施

地域の参加精神科病院と連携する一般科病院間で、連携担当者を中心に実施。連携会議を実施した事例や、連携の改題を持ち寄り、認知症サポート医や介護関係者も含めて地域の課題や連携の在り方について検討した。

2. 全体研修

参加病院の医療従事者を対象に実施。連携する精神科病院と一般科病院間の連携の課題、地域における連携の課題を県内で集約し、全体研修を開催した。

3. 地域研修

地域の参加精神科病院と連携する一般科病院の連携担当者を中心に実施。認知症サポート医や介護関係者も含めて認知症への対応や身体疾患への対応、連携の在り方について検討を行った。

実績 1. 連携会議による地域の連携・協働の仕組みづくり

参加精神科病院 13病院

連携先一般科病院 15病院

(1) 病院間連携会議の実施

・病院間連携会議開催事例数 52事例

・連携課題改善業務実施件数 10件

(2) 地域連携会議の実施

・地域連携会議 10カ所で開催

参加者 252名

2. 全体研修

開催日時：平成31年3月2日（土） 熊本テルサ

内容：①報告

各病院より連携の最重要課題について

②シンポジウム 参加者：70名

3. 地域研修

地域の参加精神科病院と連携する一般科病院の連携担当者を中心に実施。認知症サポート医や介護関係者も含めて認知症への対応や身体疾患への対応、連携の在り方について検討を行った。

(1) 荒尾地域

日時：平成31年2月8日（金） ホテルヴェルデ

参加者：259名

(2) 上益城地域

日時：平成30年12月14日（金） 希望ヶ丘病院

参加者：96名

(3) 八代地域

日時：平成30年11月22日（木） 介護老人保健施設とまと

参加者：62名

その他事項	： 関連団体への支援事業他
-------	---------------

## 1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

(1) 熊本県精神科病院協同組合

・「あかねクリーン」に対する営業協力等

(2) 熊本県精神保健福祉協会の事業

・第56回熊本県精神保健福祉大会開催（10/12）協力支援

(3) 熊本県精神保健福祉センターの事業

・精神保健福祉センター主催の研修会等への協力支援

## 2 共催・後援

- ・認知症市民フォーラム in うき 2018 後援（30/10/13）
- ・第20回熊本AAP研究会の後援（30/9/6）
- ・平成30年度地域精神障がい者スポレク大会（第25回ふれあいピック）の後援（30/10/5）
- ・全日本断酒連盟・SBIRTSの普及促進セミナーの後援（30/12/1）
- ・平成30年度職場のメンタルヘルス研修会の後援（30/11/29）
- ・第15回熊本作業療法学会の後援（31/1/20）
- ・第12回熊本県医療・保健・福祉連携学会の協賛について
- ・子育て支援フォーラム in 熊本講演の後援（31/1/26）
- ・平成30年度九州ブロック家族会精神保健福祉推進活動研修会熊本大会の後援（31/2/7・8）
- ・第55回精神科作業療法協会全国研修会 in 熊本の後援（31/9/14・15）
- ・アルコール健康障害対策・一般市民公開セミナーの名義後援（31/6/9）

## 3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

（審査会等への出席） 熊本県精神医療審査会など

（会議等への出席） 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など

（研修等への協力） 熊本県介護支援専門員更新研修への講師派遣

（医師等の推薦） 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医等の推薦

（その他） くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業



4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

- (1) 九精協
- (2) 日精協 熊本県支部

5 その他

- (1) 会員の入会・退会について
  - 入会：上通りメンタルクリニック 院長 徳山祥音 (30/12/1)
  - 新町メンタルクリニック 院長 中原敏博 (31/3/1)
  - よもぎクリニック 副院長 松崎志保 (31/3/1)
  - 退会：上通りメンタルクリニック 院長 橋村哲男 (30/9/30)
- (2) 要望等について 特になし
- (3) 報告事項 特になし

1 学術講演会

	演 題	講 師	開 催 日
1	アルコールとうつ・自殺 予防の取り組みについて ～久留米方式による ネットワーク構築～	久留米大学医療センター 先進 漢方治療センター 教授 恵紙 英昭 先生	H30年7月26日
2	奈良県立医科大学 精神 医学講座 教授 岸本 年 史 先生	奈良県立医科大学 精神医学講 座 教授 岸本 年史 先生	H30年9月19日
3	統合失調症の薬物治療 戦略	療法人 赤城会 三牧橋病院 院長 村上 忠 先生	H30年11月29日
4	今まで歩んできた精神 医学と熊本大学での抱 負について」	熊本大学大学院生命科学研究 部神経精神医学分野 教授 竹林 実 先生	H31年1月24日
5	双極性障害抑うつエピ ソードの薬物療法 ～日 本うつ病学会の治療ガ イドラインを中心に～	東北医科薬科大学医学部精神 科学 病院教授 山田 和男先生	H31年3月20日

2 研修会

(1) 看護部小委員会研修会 (第73回・第74回)

	開 催 日	会 場	内 容
1	H30年4月25日 第75回研修会	熊本市民会館 大ホール	講演「平成30年度診療報酬改定につい て」 医療法人 蔦の会 たなか病院 副院長 松本 善郎先生
2	H30年6月2日 第76回研修会	グランメッセ 熊本2階	講演「伝える力 聴く力 を高めよ う！」

		大会議室	講師 NPO 法人日本看護キャリア開発センター副代表江藤 節代生先生
3	H30年9月7日 第27回精神科看護基礎講習会	熊本市食品交流会館	講演「精神科看護と精神保健福祉法」 講師 阿蘇やまなみ病院理事長 高森薫生先生
4	H30年12月1日 第77回研修会	グランメッセ 熊本2階 大会議室	講演「職場の人間関係をスムーズにアサーティブコミュニケーション」 講師 肥後ビジネス教育株式会社 石本 亜起子氏

(2) 栄養部小委員会研修会

	開催日	会場	内容
1	H30年7月4日	㈱ハウディ第一別館	講義「精神科における NST について」 講師：医療法人恵愛会福岡病院 栄養科科长 北原 勉氏
2	H31年2月28日	㈱ハウディ第一別館	講演①「摂食・嚥下の基本を学ぶ」 講師：桜十字病院言語聴覚士 宮本 玲菜氏 講演②「摂食・嚥下の実際と演習」 講師：㈱ふくなお メディカルフーズ事業部 管理栄養士 恵谷 仁美氏

(3) コ・メディカル部小委員会研修会（第54回・第55回）

	開催日	会場	内容
1	H30年7月6日 第54回研修会	熊本テルサ	総会（報告・計画） 講演「熊本地震から2年～メンタルヘルス課題への対応～」 講師：熊本こころのケアセンター センター長 矢田部 裕介先生
2	H30年11月28日 第55回	熊本テルサ	講演①アルコール依存症の診断と治療について 講師：向陽台病院 副院長 比江島 誠人 先生 講演②女性アルコール依存症の回復のために～つながるためのプログラム～ 講師：菊陽病院 作業療法士 槌田 広子氏

(4) 薬剤師部小委員会研修会 (第 32 回 第 33 回)

	開催日	会場	内容
1	H30年9月1日 第32回	富田薬品㈱ 熊本本社	<p>会員発表</p> <p>○「八代更生病院における便秘薬の使い方」 八代更生病院薬剤科 根岸大喜先生</p> <p>特別講演①</p> <p>演題「高齢者糖尿病における薬物治療の勘所」 講師：陣内病院薬剤部主任 吉田陽先生</p> <p>特別講演②</p> <p>演題「漢方薬の薬物間相互作用」 講師：熊本大学大学院薬物治療学分野 助教 鬼木健太郎先生</p>
2	H31年3月2日	富田薬品㈱ 熊本本社	<p>会員発表</p> <p>○「新規抗精神病薬アセナピン舌下錠の入院・外来患者における服薬実態調査」 弓削病院 薬剤科 米田朋美先生</p> <p>○「八代更生病院における認知症治療薬の使用状況」 八代更生病院 薬剤科 根岸大喜先生</p> <p>特別講演</p> <p>演題「患者と医師の架け橋を担う薬剤師外来の取り組み」 講師：飯塚病院薬剤部 進 健司先生</p>

(5) 事務長会研修会・(4/25 診療・介護報酬委員会含む)

	開催日	会場	内容
1	H30年4月25日	熊本市民会館 大ホール	<p>講演「平成30年度診療報酬改定について」 講師：医療法人 蔦の会 たなか病院 副院長 松本 善郎先生</p>
2	H30年11月14日	ホテル日航熊本	<p>講演「医療従事者のためのアンガーマネジメント」 講師：メディカルマナー研究所 鈴木 直樹 先生</p>
3	H31年2月20日	熊本市民会館 大会議室	<p>適正な保険診療の実践を目的とした研修会 講師：九州厚生局熊本事務所 山口 清隆 氏</p>

# 平成30年度 事業実績

## 1 事業運営

事業種別	事業所名	事業内容
第2種社会福祉事業 (障害福祉サービス事業の経営)	熊本県あかね荘	自立訓練(生活訓練)事業 (定員40人)
		宿泊型自立訓練事業 (定員40人)
		短期入所事業 (定員2人)
	熊本県あかねホーム	共同生活援助事業 (定員10人)
	熊本県あかねワークセンター	就労継続支援B型事業 (定員30人)

## 2 月別利用者実績

月別	利用者数	あかね荘		あかねホーム		あかねワークセンター		計	
		H29年度	H30年度	H29年度	H30年度	H29年度	H30年度	H29年度	H30年度
月		人	人	人	人	人	人	人	人
4		73	62	8	7	27	26	108	95
5		74	66	8	7	27	26	109	99
6		74	68	8	7	27	26	109	101
7		72	66	8	7	29	25	109	98
8		68	56	8	7	29	25	105	88
9		67	51	8	8	29	25	104	84
10		73	53	7	9	28	24	108	86
11		66	52	8	9	28	25	102	86
12		67	52	8	9	27	25	102	86
1		60	54	8	9	27	25	95	88
2		61	56	8	8	26	24	95	88
3		57	58	8	8	26	24	91	90
計		812	694	95	95	330	300	1237	1089
平均利用者数		68	58	8	8	28	25	103	91

\* 月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

## 3 利用率

(単位:人)

事業所名	提供サービス		H28年度	H29年度	H30年度
あかね荘	自立訓練(生活訓練)	延べ利用者	8,527	8,111	6,793
		1日平均利用者	31.7	30.2	25.3
		利用率	79.3%	75.5%	63.3%
	宿泊型自立訓練 短期入所	延べ利用者	11,186	10,666	9,158
		1日平均利用者	30.6	29.3	25.1
		利用率	76.5%	73.3%	62.8%
あかねホーム	共同生活援助	延べ利用者	2,814	2,745	2,693
		1日平均利用者	7.7	7.6	7.4
		利用率	77.0%	76.0%	74.0%

あかねワークセンター	就労継続支援B型	延べ利用者	5,330	5,643	5,420
		1日平均利用者	19.8	21	20.2
		利用率	66.0%	70.0%	67.3%
合計		延べ利用者	27,857	27,165	24,064
		1日平均利用者	89.8	88.1	78
		利用率	74.8%	73.4%	65.0%

\* 利用率: 対定員数

#### 4 障害種別利用者数(受給者証標記)

(単位:人)

	精神	知的	重複	計	備考
あかね荘	34	6	0	40	
ホーム	9	2	0	11	
ワークセンター	26	3	1	30	重複の内訳:1(知的・精神)
計	69	11	1	81	重複の内訳:1(知的・精神)

\* 人数は実数

#### 5 サービス管理責任者を中心とした個別支援計画に基づく支援の向上

- (1) 利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定
- (2) 個別支援計画に基づく統一支援の徹底
- (3) 利用者の人格尊重に基づいた支援の徹底
- (4) スーパービジョンによる支援の徹底
- (5) サービス管理責任者による各種支援計画の管理と指示系統の徹底
- (6) 相談支援事業所との連携強化

## 6 見学者の受入実績

月	機関数(箇所)	人数(名)	備考
4	6	16	利用希望者、行政機関、精神科病院、教育機関等からの見学
5	3	9	
6	3	9	
7	2	6	
8	4	23	
9	5	16	
10	5	21	
11	7	23	
12	5	15	
1	5	13	
2	2	10	
3	7	22	
計	54	183	
1ヶ月平均	5	15	

\* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

## 7 職員配置基準数(平成30年4月1日現在)

専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム			あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1			1	
サービス管理責任者	1	1		1			1	
地域移行支援員		12						
生活支援員	2						3	
職業指導員						1		1
世話人				4	1			
事務員		1						
実人数			19			6		

\* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

## 8 住居について

	入所前の住居について(H30年度新規利用者)								
	自宅・アパート等 単身生活・ 結婚等の 自立生活	親・兄弟等 に扶養さ れた生活	グループ ホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
あかね荘	0	1	0	0	0	0	16	0	17
あかね ホーム	0	0	0	0	0	3	0	0	3

	退所後の住居について(H30年度訓練終了者)								
	自宅・アパート等 単身生活・ 結婚等の 自立生活	親・兄弟等 に扶養さ れた生活	グループ ホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
あかね荘	2	3	6	0	0	0	8	0	19
あかね ホーム	1	0	0	0	0	0	1	0	2

## 9 日中活動について

	退所後の日中活動について(H30年度訓練終了者)								
	就労		B型事業 所	就労移行	病院デイ ケア	入所施設	精神科病院	その他	合計
	一般の事業 者に雇用(障 害者雇用含 む)	A型事業 所							
あかね荘	0	2	5	0	1	0	8	3	19
あかね ホーム	0	0	1	0	0	0	1	0	2
あかねワー クセンター	1	0	1	0	1	0	3	1	7